平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 【舛田ゼミ】			授業コード	E002625
担当教員名	舛田　佳弘			科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	休暇中になじみのない土地への旅行を奨励します。時間もお金もかけなくて構いませんが、経済学の視点から面白いもの、特徴的なものを探すようにしてください。				
受講心得	他の授業と同じく、出席は必須です。既存の常識を疑ってみる気持ちを持ってください。間違いを気にしなくて構いませんので、ゼミ中の発言は積極的に行ってください。自身の分担する報告は確実に行ってください。				
教科書	前期は『進化経済学　基礎』 日本経済評論社　後期は第16回目のゼミで決めます。				
参考文献及び指定図書	『進化経済学のすすめ—「知識」から経済現象を読む』 講談社現代新書 進化経済学ハンドブック				
関連科目	経済政策論(2年次前期)、国際経済政策(2年次後期)				

授業の目的	経済学は社会科学の多くの分野に適用されていますが、世界にはまだ多くの問題が未解決のままです。その理論的厳密さにもかかわらず、現実が変わらない原因はどこにあるのでしょうか。経済学の反省も踏まえ、より住みやすい社会の可能性を一緒に考えます。
授業の概要	導入として、現在主流となっている経済学について、その基本的な考え方と限界を説明します。前半は主流派経済学のオルタナティブとして考えられている進化経済学の考え方について、輪読と報告を行ってもらいます。報告の際にはレジュメを用意して、要約と自身の意見を述べてもらいます。後半は卒業論文に向けて、多岐にわたる学術論文を輪読・報告してもらいます。英文も含みますので、しっかり準備を行って報告に望んでください。後期には卒業論文に取り掛かれるよう真剣に望んでください。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 各人の自己紹介とゼミの進行形式などを説明し、(人数によっては)グループ分けを行います。 皆で教科書を選び、報告者の分担を決めます。	文献講読に3～4時間、レジュメ作成で2～4時間はかかると考えて、早めに取りかかかるように。
第 2 週 ： 経済と社会の諸問題 経済学が社会の諸問題についてどのように利用されているかを一緒に考えます。 一見、経済とかかわりのなさそうな現象でも経済学からアプローチを行えることを紹介します。	
第 3 週 ： 経済学の考え方 ミクロ経済学・マクロ経済学の基本となる概念を復習します。 経済学特有の思考方法を振り返り、その有効性と限界について考えます。	
第 4 週 ： 経済学の再検討 経済学のオルタナティブとして、いくつかの異なる学派の紹介をします。	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 5 週 ： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 6 週 ： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 7 週 ： 報告	次回報告の準備

	担当者以外も読んでおくこと
第 8 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 9 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第10週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第11週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第12週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第13週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第14週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第15週 : 報告	
第16週 : 論文選択 自身の関心のあるテーマで各種学術論文を選んでもらいます。こちらでもいくつか用意しますが、自分でしっかりと読みたいものがあれば提示してください。	関心あるテーマの選択
第17週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第18週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第19週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第20週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第21週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第22週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第23週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第24週 : 卒業論文テーマ決定	次回報告の準備 以後、卒論を見据えた報告を行うこと
第25週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第26週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと

第27週： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第28週： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第29週： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第30週： 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	報告者は自身の分担を責任を持って報告すること（どうしてもできない場合は事前に連絡する）。 報告者以外も毎回一度は発言すること。
【知識・理解】	用語等はあらかじめ自分で調べてくること。 わからない部分があっても、何がわからないか明確にし、途中で投げ出さない。
【技能・表現・コミュニケーション】	聞き手にわかりやすく報告することを心がける。 担当者以外は必ず質問や感想、意見を述べること。 自身の関心のある事柄について、経済学の用語・概念を用いて説明できること。
【思考・判断・創造】	間違っても構わないので、自分なりに理解できたと思えるまで考えること。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**25点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**20点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**25点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**30点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**

レポート・作品等 （提出物）	レジュメは２～3千字程度で、報告者以外も内容を理解できるように準備すること。また、わからない語句等は予め調べてくること。
発表・その他 （無形成果）	テキストの内容を理解して、他の人に伝えられる。 他人の報告に対して、自分なりの意見表明ができる。